

1. 学校経営の重点・努力目標

大阪市立夕陽丘中学校

重点・目標	「生きる力」を育む、感動ある教育活動を推進し、思いやりあふれる学校をめざす。		
努力目標	何ごとも「心」をこめて行動しよう。 1. 気持ちよく挨拶のできる生徒 2. 心をこめて人の話の聞ける生徒 3. ルールやマナーを守る生徒		
具体的方策			
1. 基礎的・基本的な内容の確実な定着と、それらを活用する学習活動を充実し、自ら考え、意欲的に解決する力を育む。 2. 豊かな体験的活動を通して、個性を尊重し、互いに支えあう集団の育成を図り、思いやる心や感動する心を育む。 3. 自らの健康や体力に関心をもち、健康でたくましい心身を養い、自律的な生活習慣や態度を育む。 4. 今日的課題に対応する教育を充実し、自らの判断で、生きるべき道を選択し、決定できるよう、社会の変化に的確に対応できる力を育む。 5. 地域・保護者の学校支援体制を構築し、家庭や地域の教育力を活かした教育活動を進めるなかで、地域の一員である自覚と感謝する心を育む。			
評価項目		達成状況 A～D	
学習指導《教科指導・進路指導》	B	健康教育	B
特別支援教育	B	教育環境《事務部・管理作業員部》	B
人権教育《道徳・総合的学習》	B	研修	B
生活指導《生活指導・特別活動》	B	地域連携	B
結果と分析			
<ul style="list-style-type: none"> 今年も、大学の先生をアドバイザーとして授業改善の研究に取り組み、教員の指導力の向上を図った。又、授業改善の柱として、言語力の育成に重点をおいて、生徒が自分の意見や考えを言葉にして表現する授業の工夫をした。 若手教員の育成を目的にした授業研究は、全教員参加による研究協議など定着しつつある。しかし、相互授業参観については充分とはいえなかったもので、24年度は時期や期間の見直しを図る。 生徒会活動など、生徒は自主的に活動ができるようになってきた。集団育成として、1年生よりピア・サポート活動に取り組み、望ましい集団づくりや心の育成に取り組んだ。基本的生活習慣の育成には全教職員で取り組んでいるが、遅刻・服装が充分でない生徒がみられた。24年度も、引き続き全体の共通理解のもと全教職員が同じ姿勢で取り組んでいく。 清掃指導を通し、子どもの心を育てるために、クリーンアップ大作戦を地域や保護者の力を借り取り組み、一定の成果をあげた。24年度も9月に計画している。クリーンアップ大作戦で学習したことが、日常の清掃活動に活かすことができるよう指導を継続していく。 進路指導については、職業観を育てることをめやすに各学年が様々な取り組みをした。2, 3年生では、マナー講習として、キャリア教育支援ステーションと連携して、外部の人材を活用して取り組んだ。2年の職場体験学習や1年の福祉体験学習等では、将来に向けて継続して実施していく。 特別支援教育については、一人一人に対応した個別の支援を全教職員で取り組むことができた。しかし、その関わり等については、個人によって差異があるので、全校的な研修を継続してもつ必要がある。次年度は、重度の障がいをもつ生徒が入学してくるので、その支援方法等について、きめ細かく共通理解するための時間をつくる必要がある。 今年度より、学校元気アップ地域本部を立ち上げ、教員のニーズに応じた地域の支援活動を取り組み始めた。今年、継続した取り組みができるシステムを、確立するための組織づくりを中心に取り組んだ。今年、試行した天王寺区の特色を活かした「夕陽丘カルチャー教室」を、次年度からは本格実施し内容を充実させたい。 			
次年度への改善点			

外部評価（全体のまとめ）

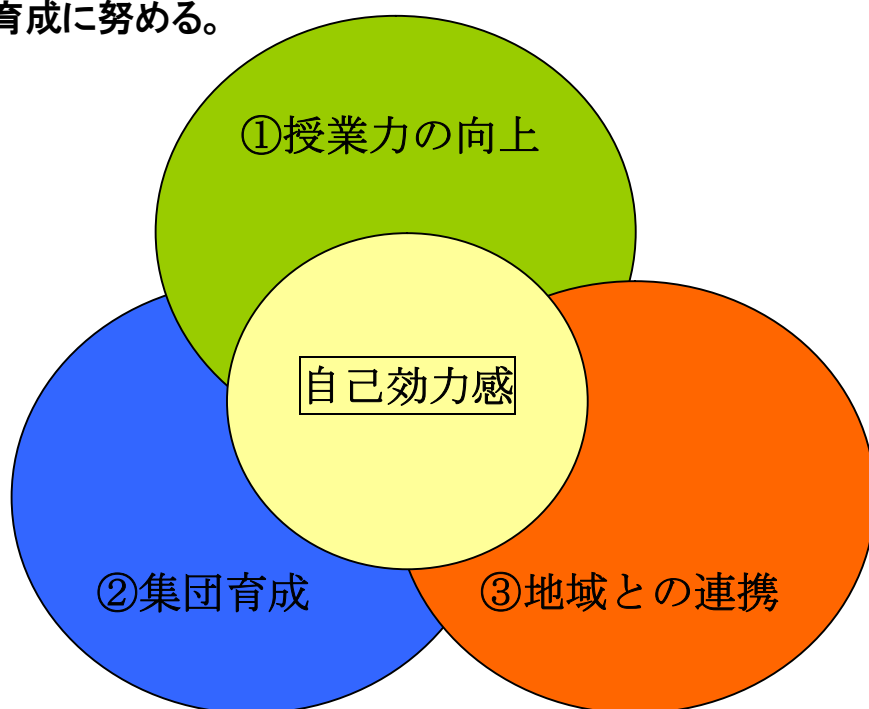
- ・学校は概ね適切に自己評価を行っている。
- ・生徒・保護者が学校に対して肯定的に評価している点はかなり評価できる。
- ・教員が熱心に授業に取り組んでいる点は評価できる。今後の課題としては、学力低位層の生徒に対するサポートと、生徒の自主的な学習意欲を高めるための指導法の工夫があげられる。
- ・保護者やその他の地域住民との連携を密にして、教育活動を行っている点は評価できる。今後は、社会に対する関心を生徒に持たせる取り組みを、地域住民と協力して行っていくことが求められる。

外部評価（項目別）

(1) 学習指導	(2) 特別支援教育
<ul style="list-style-type: none"> ・目標は概ね達成されている。 ・教員は指導方法や教材に工夫を凝らして、わかりやすい授業を行っており、また、生徒が自己肯定感を持てる取り組みを行えている点は評価できる。 ・学力低位層の生徒に対する学習支援と、受験知に偏らない学習のあり方を検討することが求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・目標は概ね達成されており評価できる。 ・通常学級での学習支援体制を整備していることと、保護者との密な連携に取り組んでいる点がかかり評価できる。 ・今後も生徒の個々のニーズに応じた学習支援体制を整備していくことが求められる。
(3) 人権教育	(4) 生活指導
<ul style="list-style-type: none"> ・計画的に人権教育に取り組むことができている。 ・生徒にとって身近な問題を取り上げ、授業などで継続的に教育を行っていくことが求められる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に対する共通理解をして生徒の指導にあたっている点がかかり評価できる。 ・今後も生徒が集団生活を行えるようになるための取り組みを継続することを期待する。
(5) 健康教育	(6) 教育環境
<ul style="list-style-type: none"> ・健康教育について積極的に取り組んでいる。特に生徒に健康的な生活を送るための情報を提供したり、家庭と連携を図ったりしている点はかなり評価できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・限られた予算の中で教育環境を整えている。 ・今後も限られた予算の中で、教育指導の効果があがるような取り組みを行うことを期待する。
(7) 研修	(8) 地域連携
<ul style="list-style-type: none"> ・様々の研修を計画・実施したり、研修に参加しており、自らの力量向上とよりよい学校づくりに貢献している。特に授業研究を充実させている点が評価できる。 ・教員が相互に授業参観し、互いに学び合える関係を構築していくことを期待する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者、地域、関係諸機関との連携を密にしており、学校の取り組みとしてかなり評価できる。 ・社会に対する関心を生徒に持たせる取り組みを、地域住民と協力して行っていくことが求められる。

平成 24 年度の主な取り組み

平成 24 年度も引き続き、「授業力の向上」、「集団育成」、「地域との連携」を3つの柱として教育活動を進めることで、生徒のさらなる自己効力感の育成に努める。



- ① 各教科で主題設定して生徒の知的欲求を満足させる**授業改善**に取り組む。
- ② 互いに支え合い向上しあえる**集団育成**に取り組む。
- ③ 学校元気アップ地域本部と連携して、生徒に**社会に対する関心**を持たせる取り組みを進める。

以上の改善に取り組むことにより、「**信頼できる学校**」づくりに努める。